

ひなたぼっこ通信

2018年
10月号

宅幼老所から「敬老の日」

涼しい風、高く澄んだ空、季節はすっかり秋模様となってきました。

9月17日は敬老の日でした。宅幼老所では皆様の長寿をお祝いするため、敬老会を開催しました。

日頃の感謝の気持ちを込めて、詩吟の名手の職員からは詩吟を、美しい歌声の職員からはギターの弾き語りでお祝いさせていただきました。

知っている曲と一緒に口ずさんだり、ご利用者様のお一人がおもしろい替え歌を歌って下さったりと、終始笑顔が溢れるとても盛り上がった会になりました。

皆様いつまでもお元気でいてくださいね！



グループホームから

「富士見中学校文化祭見学」 1階

毎年招待して頂いている中学校の文化祭に行ってきました。あいにく雨が降り、利用者の皆様は、道中の景色が見れず残念がっておられました。でも、中学校に着くと凄い車の数にびっくりされていました。玄関に着くと先生と生徒の方が出迎えてくださり、一緒に階段を上り、会場の体育館へ向かいました。皆様は、普段全く段差のない所で生活されている為、階段がとても大変な感じでした。

「よいしょ！よいしょ！」と掛け声を掛けながら手すりにつかまり、生徒の方も一緒に上ってくれました。体育館に着くと「あーやっと山頂に着いた！」と冗談(?)を言われていました。

文化祭は少し遅れぎみで、見学は休憩からのスタートになりましたが、その間生徒の方と話をする事が出来ました、とても楽しそうに話をされるその姿は、ご自分の学生時代に戻っているかの様に映りました。合唱部の歌が始まると、歌に合わせて手拍子されたり、拍手されたりされ、生徒の方と一体になっていました。「昔を思い出すよ。」「涙が出る。」などと言われた方もおられました。

最後には、先生や生徒の方と握手をして、また来年も見に来ますと約束を交わしてお別れとなりました。

若い人達と接する事は利用者の方にとって、若い頃を思い出す、とても良い時間になるという事を

実感しました。

中学校の皆さんありがとうございます。利用者の方皆さん、来年も又タイムスリップに行きましょう！



ケアハウスから

「敬老の日マジックショー」1階

9月17日敬老の日、ケアハウスひなたぼっこではマジックショーが開催されました。利用者の方々は始まる前からワクワクドキドキしておられ、手に汗を握る利用者様もおられました。

司会の挨拶が終わりに、マジックショーの音楽がながれました。いよいよマジシャンの登場です。シルクハットにチョビ髭を付けたサングラス姿のマジシャンが現れ、利用者の方々の大きな拍手と歓声が沸き起こりました。するといきなりマジシャンがケチャップを利用者様の頭にかかけました！！利用者様はびっくり仰天！

でも大丈夫です。マジシャンが「アブラカタブラ」とおまじないをかけると、かかったケチャップが突然消えました。利用者様はびっくりしたのとケチャップの汚れがとれた事で大興奮でした。1年に一度の敬老の日に利用者様の笑顔が溢れ、



とても心に残るマジックショーでした。

マジシャンの樋口施設長と師匠様、楽しいひと時をありがとうございました。(き)

「ケアハウスひなたぼっこ祭り」2階

9月15日にひなたぼっこ祭りが開催されました。天気は雨でしたが、暑すぎず、寒すぎず、ちょうどいい気温でした。最初にスタッフも入居者さんも青い法被を着て、お祭りへの気合を入れました。縁日企画が始まるとキャラメルポップコーンの甘い香りが食堂に漂い、盆踊りの曲が流れ始め、にぎやかな時間を過ごしました。

利用者様と一緒に、ヨーヨー釣り、輪投げやお菓子の詰め放題、ポップコーン、太公望、綿あめ、リサイクルバザーなどの屋台へと向かいました。

景品の入ったビニール袋をフックでひっかけて取る太公望というゲームが盛り上がりました。フックがひっかかりそうでなかなかひっかかりません、利用者様は「もっと右、左、下！惜しい。頑張れ。」とスタッフに応援されながら、楽しまれていました。袋がやっと取れた時の利用者様の嬉しそうな顔が印象に残っています。

綿あめは利用者様に好評で、何本も食べている方もいて、屋台の前には長蛇の列が出来ていました。カボチャの重さ当てクイズでは、入賞者が6名もいて、



とても盛り上がりました。幼少時代に戻った気持ちで縁日を楽しめて、いつもの日常とは違う一日でリフレッシュ出来たと思います。(ほ)

放課後等デイサービスから

前回の通信では夏休みの暮らしの中で、プールや散歩のことを主に紹介しました。今回はその続きでJRでのお出かけを紹介します。長い夏休み、その中のアクセントとして「乗り物に乗ってのお出かけ」は大事です。

選んだお出かけ先は「松本」そして「甲府」です。偶然ですが、この2つの街は、富士見からほぼ同じくらいの距離です。時間にして1時間ほどで、子ども達が機嫌よく車中を過ごすには格好のところと言えます。

富士見の駅について、すでにいろいろな情報がいけないことがたくさんありました。まずは切符を買うことです。子どもさんによっては、自分で自販機から買う場合もあります。支援者は、自販機の上の表を指さしながら「ここが松本で、〇さんは小学生だから、半額のところを押して」などと説明します。自分で買えない子どもさんの場合は、別の支援者がまとめて窓口で購入します。買った後、次はその切符をそれぞれに渡したりして、いよいよホームに行きます。ある子どもさんは、切符を大事に自分のポケットにしまっています。また、ある子どもさんは「先生！持ってて。」と頼んだりします。

さて、電車が来ました。松本まで乗り換えなしの1時間。それぞれの支援者のまわりに数人ずつ固まって、外を眺めたり(後ろ向きに座って)時にはおしゃべりしたりして松本に到着しました。

松本の駅前に商業ビルがあって、その6階にサイゼリアがあります。お店には、あらかじめ子ども達の好きなものを注文しておきました。子ども達が席に着くと、すぐに料理が運ばれてくるという仕掛けです。料理が来て、約30分。満足した子ども達と支援者はそのまま帰路につくのです。「松本まで行って！」とお思いの方もいるかも知れませんが、そもそも目的はJRに乗ることと外食することです。それに何より暑い夏。早くひなたぼっこに帰って、

プール遊びをしなければいけません。

満腹になった子ども達は、一番暑い時間帯に帰ってきて、そしてプール遊びも楽しんだという次第です。甲府の時もほぼ同様でした。



理事長 森 正明

〒399-0211

富士見町富士見11650-1

TEL 0266-61-2335

FAX 0266-61-2336